

令和3年度 長野県岡谷工業高等学校 学校評価表

学校番号 53

岡谷工業高等学校

1 学校教育目標と重点目標

No.1

学校教育目標	重点目標（中・長期的目標）
<p>教育基本法ならびに学校教育法の精神に則って、次の目標を達成することに努める。</p> <p>(1) 人格の形成をめざし社会の一員としての必要な資質・能力を養うため、教養を高める。</p> <p>(2) 日本の工業の構築発展を支える技術者として、地域に根ざした教育活動から、技能・知識・態度を修得する。</p> <p>(3) 本校の伝統の校訓「質実剛健」、「至誠一貫」、校是「技術者たる前に人間たれ。」の精神を涵養する。</p>	<p>地域社会から求められる生徒を育成し、より魅力有る工業高校の姿を求める。</p> <p>(1) 学力の一層の向上に努める。</p> <p>(2) クラブ活動の充実と活性化に努める。</p> <p>(3) 地域との連携により、社会に連動した魅力と活力のある学校づくりに努める。</p>
	<p>今年度の重点目標</p> <p>(1) 生徒の学力を伸ばし、進路実現へとつながる教育 ア 観点別評価のフィードバックと授業改善による個に応じた指導と学力の向上 イ 授業公開・参観による教員の資質・能力の向上 ウ キャリア教育の充実による、社会を担い貢献できる生徒の育成 エ コミュニケーション能力や情報活用・発信能力に優れた人材の育成</p>
	<p>(2) 生徒一人ひとりが、安全で生き生きと充実した高校生活をおくる環境づくり ア 挨拶の励行、清掃の徹底による学習環境の整備（5Sの徹底） イ 各種コンテスト、資格取得や技能検定の情報提供と積極的な挑戦への支援 ウ 生徒会活動、部活動の一層の充実・発展 エ いじめ、体罰のない安心安全な学校 オ 支援を必要とする生徒や悩みを抱える生徒への相談・支援の充実 カ 情報モラル・IoT教育の計画的な指導（HR, 学年, 生徒指導, 進路指導 連携）</p>
	<p>(3) 地域に根ざし、地域の期待に応える、開かれた学校づくり ア 学校開放・地域貢献・地域連携・地域活性化・ボランティア活動への取り組み イ 国・県の指定事業、各種団体の助成事業の積極的な活用 ウ 広報活動の強化（HP等による積極的な紹介、工業高校の存在意義の再確認） エ 小中学校におけるものづくり教育の連携 オ 本校の将来構想について検討の推進 カ 近隣地域の清掃活動 キ 地域の子どもたちから「あこがれの岡工生」としてみられる生徒の育成</p>

2 評価項目と評価の観点

領域	対象	評価項目	評価の観点
教育活動	教育課程	教育課程の検討	新学習指導要領への移行に対応した教育課程が編成できているか。また現行の教育課程は本校の教育目標および地域の期待に応えるものであるか。
		選択科目の計画	選択科目の設置は生徒の実態に即したものであるか。また次年度に向けて生徒の希望に沿った選択科目の計画が行えたか。
		シラバスの作成	学習内容を精査し、実用的なシラバスを作成することができたか。またシラバスに沿った授業を計画的に実施することができたか。

領域	対象	評価項目	評価の観点	
教育活動	学習指導	学力の向上	学力の把握と観点別評価により、学びの課題を明確にした上で、生徒の声に耳を傾け実態に即した学習活動を展開することができたか。	
		家庭との連携	適切な説明責任を果たすことで、本校の学びに対して保護者の理解を求め、家庭との円滑な連携を図ることができたか。	
		資格取得の推進	各種資格取得の管理・運営をとおして、生徒の意欲的・自主的な活動を支援することができたか。	
		開かれた学校づくり	本校の教育活動を理解してもらうために、保護者・中学生・地域等に向けて、適切な情報発信と働きかけができたか。	
	生徒指導	家庭との連携	家庭や学校生活での行動の変化等の心配事や、事件・事故・問題行動発生時等に速やかに対応できるように家庭との連携が取れているか。	
		生徒への意識啓発	校内外で起こりうる事件・事故に対して正しく対処するにはどうしたらよいか考えさせ、また、常識ある行動を取れるように指導したか。	
		相談体制の充実	生徒が相談しやすい校内体制を整備し、それが安心安全な学校生活につながったか。	
		手続きのアカウントビリティ（説明責任）	生徒指導上の「指導」において、その根拠や手続きについて生徒や保護者に十分な説明と理解がされているか。	
		職員協力体制の確立	日常の生徒指導において、全職員の協力体制ができているか。	
	進路指導	進路希望に応じた進路の実現	生徒への進路情報の提供及び進路相談業務を通して、生徒の希望・能力・適性に合った進路がかなえられるよう指導援助できたか。	
		進路情報の収集	入試説明会や学校訪問に参加し、また、事業所訪問や求人票の受付業務等を通して、より詳細な情報提供ができたか。 生徒が情報を得やすいように進路指導室および進路資料室を整備できたか。	
		職業意識の形成	適切な進路計画の設定・実施を行ったか（インターンシップ・事業所見学・進学ガイダンス・模擬試験・進路講話など）。	
	特別教育活動	生徒会	生徒の自主活動	自主的、主体的な生徒会活動にできるよう本部役員が企画運営を考え活動する中で、達成感や充実感を得ることができたか。また、全校生徒が生徒会活動に対して意識を向上させることができたか。
			部活動の充実	部活動に入っている生徒が日常のクラブ活動を充実させ、各クラブや各自が定めた目標に向けて意欲的に取り組めたか。 また、各クラブの活躍を、学校内外に広く伝え、活動の励みにすることができたか。
	学校運営	教務	より良い学校運営	各係、委員会等との組織的な連携を図り、効率的な業務の推進に努めたか。 学校全体のバランスを見据え、諸行事の計画および実施において、より良い学校運営に努めたか。 新型コロナウイルス感染症に対して適切な学校対応をおこなうことができたか。
			地域に開かれた学校づくり	学校要覧、学校案内、学校パンフレット等を利用して、学校の魅力と特徴を発信し、地域にアピールすることができたか。 体験入学、学校見学等により、地域の中学生や保護者に対して、本校の教育活動を正しく理解してもらうことができたか。
			入学者選抜業務	入学者選抜説明会等を利用して、本校と募集の観点に沿った適切な説明を行うことができたか。 前期選抜および後期選抜ともに、綿密な計画のもとに、的確な選抜業務を行うことができたか。